



# くすのき

## ○ぶつぶつぶやき○

水に浮かぶカモを見ていると、羽毛の威力のすごさを感じます。水にプカプカ浮いていられたり、しかも、浮いたままひっくり返って足で体を搔いたりして。羽毛は水を弾いて、背中に水玉が乗っていたりする。膨らんだり、ペタッとなったり、羽毛1枚1枚が重なって、形になったり色や模様になったり。翼を広げれば飛べたり、服でもあり家でもあり、道具でもあり。とにかく、すごい。

<さんじゃく>



季節

輝ける黄色の絨毯が一足早く広がっている…  
季節はめぐり春！ 心が浮き立つようだ…

『菜の花』平成28年3月3日

2006年3月から10年間続いた季節感、今回が最終回です。

糸島市二丈福井 福ふくの里

大塚俊樹



### ★都市公園で自然観察会 58★

春日公園で、いろいろな視点でコケや地衣類などをゆっくりと観察します。  
造詣の深い 角 正博さんに 案内していただきます。

☆日時 3月20日 (日) 集合14時 ~ 解散16時

☆場所 春日公園・自然かんさつ館 [旧公園管理センター]

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

**日本野鳥の会 福岡支部 主催**

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

|   |   |  |
|---|---|--|
| 3/20 (日) 4/17 (日)<br>天拝山探鳥会 (筑紫野市)<br>時間：9:00~12:00<br>集合：天拝山歴史自然公園<br>問合せ：090-7165-5026 (重松尚紀) | 3/27 (日) 4/24 (日)<br>久末ダム探鳥会 (福岡町)<br>時間：9:00~12:00<br>集合：久末ダム多目的広場横<br>駐車場 (管理事務所下)<br>問合せ：0940-33-7846 (高原和幸) | 4/3 (日)<br>今津探鳥会 (福岡市西区)<br>時間：9:00~12:00<br>集合：玄洋高校西側道路<br>問合せ：092-891-9005 (神園道男)  |
| 4/9 (土)<br>大濠公園探鳥会 (福岡市中央区)<br>時間：9:00~12:00<br>集合：ポート乗り場前<br>092-573-1827 (森健児)                | 4/10 (日)<br>和白海岸探鳥会 (福岡市東区)<br>時間：9:00~12:00<br>集合：JR 和白駅前公園<br>問合せ：092-606-0012 (山本廣子)                         | 4/5 (火)<br>県営春日公園 (春日市)<br>時間：10:00~12:00<br>集合：旧公園管理センター前<br>問合せ：092-592-3423 (小野仁) |

**日本野鳥の会 筑後支部 主催** <http://grosbeak.blog.fc2.com/>

- 第1日曜 花立山 (偶数月)  
甘木公園 (奇数月) 10時~12時
  - 第2日曜 高良山 9時~12時
  - 第3日曜 企画探鳥会 (中ノ島公園内遊具広場  
9時集合)
  - 第4日曜 濃施山公園等 9時~12時
- 問合せ： 上記ブログへ



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

**三国丘陵の自然を楽しむ会 主催** <http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

- 4/2 (第1土曜日)  
自然観察会 (植物・昆虫・野鳥など)
- 集合：九州歴史資料館駐車場
- 時間：9:15~12:30
- 問合せ：092-920-3072 (松永紀代子)
- 参加費：無料
- ブログ  
「三国丘陵の自然を楽しむ会」で検索  
観察会や様々な生きもの情報を載せています

スイカズラの葉っぱ、お  
いしいな



ヒヨドリ・三国 松永

**和白干潟を守る会 主催**

**久留米の自然を守る会主催**

|  |   |  |
|--|---|--|
| 3/26 (土)<br>守る会定例会議<br>時間：10:30~13:00<br>集合：和白干潟を守る会事務所<br>問合せ：092-606-0012 (山本廣子)                       | 3/27 (日) 第426回例会<br>筑後川・春の野草を楽しむ会<br>春の食べられる野草観察会と野草、葉<br>草の調理をして、味わいます。<br>時間：9:00~14:30<br>場所：筑後川防災施設くるめウス<br>参加費：400円 定員50名<br>要申込<br>持ち物：お箸、お皿、カップ、<br>出納、帽子、筆記用具<br>共催：筑後川まるごと博物館実<br>行委員会<br>問合せ：090-1346-0460 (橋田沙弓) | 「身近な植物」ボランティア養成講座<br>3/26、4/30、5/21<br>場所：山川町王子宮駐車場<br>3月のみ山本町柳坂バス停<br>時間：9:30~12:00<br>問合せ：090-1346-0460 (橋田沙弓) |
| 3/26 (土)<br>クリーン作戦 と自然観察会<br>時間：15:00~17:00<br>集合：海の広場 駐車場なし<br>長靴・軍手があると便利<br>問合せ：090-1346-0460 (田辺スミ子) | <b>福岡植物友の会 主催</b><br>3/20 (日) 孔大寺山山麓 (宗像市)<br>3/29 (日) 愛宕神社の森 (西区)<br>要予約<br>問合せ：092-662-2983 (佃昇)  |  |

# 2016年2月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は2月8日(旧暦1月1日)～3月5日(旧暦1月27日)までのデジカメ日誌です。



2月10日(旧暦1月3日) 福岡市西区かなたけの里 Tさんのお誘いで、初めて西区のかなたけの里を訪れた。ここは、里地里山の環境を、実際の農事体験などを通じてそこから智恵や恵みを感じられるようにした農事公園であった。ここから北1Km 程には、国指定史跡の吉武高木遺跡がありこの農事公園は古代から日本人が育んできた景観を感じられる場所でした。写真は冬鳥のシメが食事中。



2月16日(旧暦1月9日) 筑紫野市天拝坂 寒い朝、フキノトウをみつけた。口の中にほろ苦い香りと味が広がった。

くすのき 2016年3月号投稿原稿-本のむし  
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会



2月18日(旧暦1月11日) 筑紫野市武蔵天拝山 今年はクロジの飛来が少ないようで、探鳥会などでなかなか出会えないと聞いた。この日はやっと出会えたが、ノネコの多さとソウシチョウへの無責任な給餌が目立ち、最近のペットブームの弊害を強く感じた。



2月27日(旧暦1月20日) 太宰府市観世音寺 サクラの幹の窪みにジョロウグモの卵のうがあった。結構目立っていたが、ヒヨドリなどは食べないのだろうか。



3月3日(旧暦1月25日) 筑紫野市塔原南 散歩で見かけたシロバナタンポポである。日本在来と書いたものもあるし、カンサイタンポポとケイリタンポポ(大陸系)の交雑種と書いたものもあって奥が深そう。

# 『植物は<知性>をもっている』

S・マンクーゾ、A・ヴィオラ著

(NHK出版)

「植物は人間がいなくても生きていける。だが植物なしでは私たちは生きられない。このことはこれからの地球にとって最も重要な課題である。

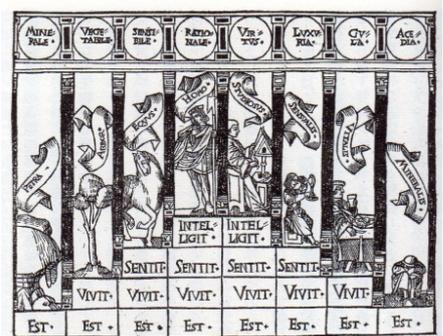
知性とは問題を解決する能力と定義づけるならば、植物は人間の能力をはるかに超えている。」その知略に富んだ生き方を、植物学の世界的第一人者が長年にわたり科学的に分析して、はじめて明らかにした衝撃的な一冊。

ダーウィンの「種の起源」発刊から150年経た今日、植物が人間をはじめとする動物たちの生命とどれだけ深く関わっているのか、今さらながら改めて納得させられる目から鱗の本です。

本書では、植物は人間が持っている5感はもとよりさまざまな20の感覚を使ってコミュニケーションを図ることによって、動物たちよりも高い環境適応能力や、生存競争に打勝

つための優れた問題解決能力をもっていることを解き明かしていく。

「地球上のあらゆる環境を支配している植物は、地球上の多細胞生物の99%を占めている」とは驚きです。



この本を読み終えたとき、人間は、進化の頂点にいるという自尊心から植物を過小評価しているのではないか、そして、生物ピラミッド(図)(人間上位、植物下位)のイメージは逆さまではないか、という疑問を感じたのは私だけだろうか???

身近な植物にも不思議がいっぱい。植物たちの生き方に思いをめぐらせて、その謎に少しでも迫りながら観察ができるともっともっと楽しくなりそうです。いま、植物に何らかの関わりをもっておられる方や、少しでも興味がある方にはぜひご一読をお勧めします。(ある知人からのメールです)

『植物は<知性>をもっている』読みました。そうだ、そうだ、やっぱり、などとつぶやきました(笑)。

植物学は詳しくないのですが、少し学ばせて頂きました。ありがとうございました。

良い本をご紹介いただいて感謝します。植物ってすごい!

(つるた自然塾 鶴田義明)

# 窓越しの自然観察 ⑪

周辺には、鳥達の置き土産から、様々な芽生えがありますが、最も多いのは、赤・白のマンリョウ (ヤブコウジ科・ヤブコウジ属)。あちこちに生えて困ると迷惑げな声もありましたが、そこ此処で成長し、年の暮からたっぷりの実を付けて、目を楽しませてくれ嬉しい限りです。  
センリョウ (センリョウ科・センリョウ属) も欲しいなあと思っているのですが、鳥達にとって美味しいものではないのか、栽培で守られているからなのか、滅多に生えてきません。鳥達は、赤より黒色の実を好むと聞いたことがあります。



確かに、ツグミが大騒ぎをしていたクスノキ根方には、びっしりと実が散乱しており、冴えない色合いのヤツデやカクレミノの実も、赤色に先立ってよく食されているようで



す。それでも月末には、ナンテンの赤もすっ

かり消えてしまいましたが、クロガネモチはいつまでも残っています。

収穫されないまま凍った柑橘類は、苦みばかりが強烈で、全く口に出来ないと始めて知ったのですが、メジロ達がせっせと食べに来て、すっかり片付けてくれました。ホオジロやシジュウカラなどは、お好みではない様子。ヒヨドリばかりは、何でもござれとけたたましい。(ダムサイト住人 2016/2/29 記)

## 春日公園 自然観察会

2016年2月21日(日) 14:00~16:00 晴れ 参加者7人

冬の終わりを感じさせる穏やかな天気、この時季の早春らしさを観察しました。早春のきざしを探して、散策しました。

黄色が鮮やかさを増し始めたミモザの蕾、此花からミモザサラダという名前が生まれたと参加者の一人が話された。花をじっくりと観察し、なるほどと納得。その後、すぐ近くのジンガサゴケの鮮やかな緑色(もう少しで立派な陣笠になりそう)を楽しんだ。案内はYさんでした。サザンカに定着しているヒノキバヤドリギを、手にとって観察。見かける度に、こういう生き方をなぜ選択できたのか、知りたいものです。もう一つ知りたい現象はモミジバフウ(アメリカフウ)の枝に翼が発達するのは、何のためなのでしょう。



ミモザの花



ジンガサゴケ



モミジバフウの枝と翼



皆で楽しんだカワセミ



この地の主 楠木と対話する。

<報告: でんじそう>

